# 平成２３年度事務事業評価調書

平成２３年度作成

平成２２年度
実 施 事 業

| 事務事業名 | ふるさとまちづくり記念品購入費 |
|---|---|

| 区分 | 番号 | 名称 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | | | | | |
| 節 | 9 | | | | | | |
| 施策 | 9 | | | | | | |
| 小分類 | 9 | | | | | | |
| 主要な施策 | 9 | | | | | | |
| 事務事業番号 | 016 | 事務事業コード | 69999016 | 事業開始年度 | 平成 ２１ 年度 | 事業終了年度 | 平成 ー 年度 |

| 会計種別 | 一般会計 | 予算書上の事務事業名 | ふるさと納税関係経費 |
|---|---|---|---|

| 部 名 | 総務部 | グループ名 | 総務Ｇ |
|---|---|---|---|

| 統合前または名称変更前の事業名 | |
|---|---|

## 事務事業の目的と成果

| | |
|---|---|
| 目的 | （事務事業の実施目的を具体的に記載してください）<br>ふるさと納税をしていただいた方に市特産品（登別ブランド）を贈呈する。 |
| 手段（事業の内容・活動） | （目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）<br>登別市を支援していただけるよう努め、登別市に対しての応援寄附金を事業費として活用させていただき、登別市のまちづくりの推進を図る。<br>市では、ふるさとまちづくり応援寄附金（ふるさと納税）制度を活用し、登別市の発展のため寄附していただいた方に対し、感謝の気持ちを込めて登別市の特産品等を贈呈する。 |
| 成果 | （事務事業の実施成果を具体的に記載してください）<br>ふるさと登別市の発展と活性化を願い、登別市を応援する人々からの寄附金を財源に、寄附者の意思を具体化することによって活力あるふるさとづくりと協働のまちづくりに資する。 |
| 根拠法令等 | （事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）<br>登別市ふるさとまちづくり応援寄附条例<br>登別市ふるさとまちづくり応援寄附条例施行規則 |

## 指標の推移

| 区分 | | | 単位 | 区分 | 22年度 実績 | 23年度 目標 | 24年度 目標 | 25年度 目標 | 26年度 目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 成果指標 | ① | 登別市ふるさとまちづくり応援寄附金の寄附件数 | 件 | 目標値 | 30 | 50 | 70 | 70 | 70 |
| | | | | 実績値 | 51 | | | | |
| | ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | | 実績値 | | | | | |

## 事業費の推移

| 区分 | | | 単位 | 22年度決算 | 23年度当初予算 | 24年度見込 | 25年度見込 | 26年度見込 | 24～26年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業の財源内訳 | 国庫支出金 | 名称 | 千円 | | | | | | 0 |
| | 道支出金 | 名称 | 千円 | | | | | | 0 |
| | 地方債 | 名称 | 千円 | | | | | | 0 |
| | その他 | 名称 | 千円 | | | | | | 0 |
| | 一般財源 | 名称 | 千円 | 327 | 344 | 365 | 365 | 365 | 1,095 |
| | 合　計 | | | 327 | 344 | 365 | 365 | 365 | 1,095 |

| （参考）上記事業を実施する上で必要となる人件費 | 単位 | 22年度決算 | 23年度当初予算 |
|---|---|---|---|
| 職　員 | 千円 | 332 | 341 |
| 嘱託員 | 千円 | 0 | 0 |
| 臨時職員 | 千円 | 0 | 0 |
| 合　計 | | 332 | 341 |

## 担当グループによる事務事業評価の内容

### １．事務事業の妥当性について

| 設問 | 選択 | 回答 | 問い | 内容 |
|---|---|---|---|---|
| 今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？ | ◎ | 妥当である | 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ | 登別市を支援していただいた方への感謝の意を示すものであり、市が主体として実施することは妥当である。 |
| | | 妥当ではない | | |

### ２．事務事業の成果について

| 設問 | 選択 | 回答 | 問い | 内容 |
|---|---|---|---|---|
| 成果はあがっていますか？ | ◎ | 成果があがっている | 成果があがっている理由、あがらない理由はなんですか？ | 東京登別げんきかいや札幌のぼりべつ会をはじめ登別市にゆかりのある方にＰＲを行うことで、寄附による協力を得られている。 |
| | | どちらかといえばあがっている | | |
| | | 成果があがらない | | |

### ３．事務事業の成果向上について

| 設問 | 選択 | 回答 | 問い | 内容 |
|---|---|---|---|---|
| 成果を向上させることはできますか？ | | 大きく向上させることができる | どのようにして向上させますか？<br>向上させることができない理由は何ですか？ | パンフレット、市ホームページなどで継続して本制度の周知・理解を図ることで成果向上を図ることができると考える。 |
| | ◎ | 少し向上させることができる | | |
| | | 向上させることはできない | | |

### ４．事務事業の経済性・効率性について

| 設問 | 選択 | 回答 | 問い | 内容 |
|---|---|---|---|---|
| 成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？ | | 削減できる | どのような方法でコストを削減しますか？<br>削減できない理由はなんですか？ | 寄附者への特産品購入費と周知用パンフレット代となっているが、特産品購入費の増加は、寄附者数の増加となり、市として削減を図る性質のものではない。 |
| | ◎ | 削減できない | | |

## 担当グループによる評価

| 評価 | 左記の評価を選択した具体的な理由（根拠） |
|---|---|
| 維　持 | 登別市の発展と活性化のため寄附金を出資していただいた方へ特産品を贈呈し市として感謝の意を示すとともに、登別市の自然が育てた食材などを知っていただくことで、市のＰＲにも繋がっていくものと考える。 |

## 総合的な評価（当該事務事業の方向性）

| 評価 | 備考 |
|---|---|
| 維　持 | |

※評価の種類
- ◆拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- ◆維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- ◆改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- ◆休止（暫定的に休止する事務事業）
- ◆終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- ◆廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）